

2019年-米国の自動車保険に関する市場動向

- ❑ 他保険種目と比較しても最も保険料率が上昇している市場。2018年第1四半期は、前年対比で保険料規模が7.7%上昇。過去7年間で最も大きな上昇となった。
- ❑ 3千万~4千万ドルという過去に例を見なかった規模での補償を認める判決が出るようになった。5年前は、1千万ドル超の補償は稀であった。
- ❑ 米国の好景気を反映し、2013年~2017年の期間でより多くの台数の自動車が発行されるようになった。2013年以前と比較し、総運転距離は300マイルも伸びている。
- ❑ **【2019年の市場予想】 米国全体+6.0%~+12.0%**
- ❑ 出典: *Marketplace Realities 2019, Issued by Willis Towers Watson*

2019年-米国のサイバー保険に関する市場動向

- ❑ サイバー保険の更新においては、その保険料上昇率について、一桁台の上昇で推移している。
- ❑ 市場規模は増加の一途を辿っており、2020年までには100億ドル規模の保険市場となる見込。
- ❑ 10億円以下の売上高企業においては、引き続き競争力のある保険料率や補償内容でのカバーを期待できる。
- ❑ 欧州における個人情報規制 (General Data Protection Regulation(GDPR))が2018年5月に施行され、米国加州においては、2020年にCalifornia Consumer Privacy Actが施行される見通し。サイバー保険市場は、これら規制を起源として発生した損害を補償するように調整されていく見込。
- ❑ サイバーイベントを起因とする風評被害とその遺失利益をカバーするような補償内容の拡充が多く見受けられた。
- ❑ **【2019年の市場予想】 米国全体-3.0%~+5.0%**
- ❑ 出典: *Marketplace Realities 2019, Issued by Willis Towers Watson*

2019年-米国の財物保険に関する市場動向

- ❑ ハリケーン・フローレンスとハリケーン・マイケルの被害は、(予想していた規模と比較すると)それほど甚大なものではなかった。ハリケーン・フローレンスの総被害額は、現時点において17億ドル~46億ドルの範囲となる見込。
- ❑ 2017年において発生した多くの自然災害への補償対応が凡そ一段落し、財物保険市場キャパシティは、2017年のそれと比較してもより多くの補償へ対応できる状況となっている。
- ❑ **【2019年の市場予想】 米国全体0.0%~+10.0%**
- ❑ 出典: *Marketplace Realities 2019, Issued by Willis Towers Watson*

2019年-米国の労災保険に関する市場動向

- ❑ 米国全体としては、過去2年間の平均上昇率は1.8%であった。多くの州において、就業者数の増加が報告された。
- ❑ 2019年における労災保険市場においても、保険料率は比較的緩やかに推移する見込。
- ❑ テレメディシン(電話、ウェブ、携帯アプリを通じた遠隔治療サービス)の拡大、職場復帰プログラムの改善により、より高品質で効率的な医療サービスを受けられるようになり、結果として労災補償額の減少へと繋がった。
- ❑ **【2019年の市場予想】 米国全体-4.0%~0.0%**
- ❑ 出典: *Marketplace Realities 2019, Issued by Willis Towers Watson*